

# あんしん 支援センターだより

年を重ねても、住み慣れた地域で安心して  
自分らしい暮らしを継続するために

高齢者あんしん支援センター（出雲市地域包括支援センター）は、高齢者の生活・福祉・介護・保健等あらゆる相談に対応する総合相談窓口です。地域の皆さんや関係機関の皆さんと連携を図りながら、高齢者の暮らしを支える取組みをしています。



## 個別事例検討のための 「地域ケア会議」開催しています

独居や高齢者夫婦などの高齢者のみ世帯、認知症、経済的困窮、孤立や不安、高齢者と障がいをもつ子の世帯など、既存の制度やサービスだけでは解決できない様々な問題を抱えながら、地域で生活している高齢者の方もたくさんいます。

地域ケア会議では、このような課題を抱える事例について、福祉や医療の専門職と地域の関係者が協働で課題解決へ向けての検討を行います。また個別事例の検討を通して見えてくる「地域課題」を把握していきます。

いつ開催しているの？

事例があれば、出席者と日程調整を行い  
随時開催しています。  
令和2年度は合計40回開催しました。

どんな人が出席しているの？

既に事例に関わっている方、今後関わって欲しい方など、事例ごとに必要な方へ出席を依頼します。  
会議の主催はあんしん支援センターが行います。  
(令和2年度の出席者)

- ・本人、家族
- ・ケアマネジャー、介護サービス事業所
- ・民生委員、ボランティア、近隣住民
- ・障がい相談支援事業所
- ・保健所、警察、児童相談所
- ・出雲市職員、出雲市社協職員
- ・医師、看護師、病院相談員 等

のべ264人が参加

どんな事例を検討しているの？

- ・認知症、妄想の為近隣トラブル  
を抱える独居高齢者の支援
- ・身寄りのない方への支援
- ・障がいのある子を含む世帯全体の支援
- ・家族を亡くし死にたい気持ちを訴える高齢者の支援
- ・県外から移住し独居生活を送る高齢者の支援
- ・こだわりと拒否の強い高齢者への支援  
など

令和2年度はこのような事例を検討しました。  
特に、認知症に関する事例と、高齢者と障がいの子と  
いた世帯全体に支援が必要な事例が多くありました。

地域を含む関係者が顔を合わせ、それぞれが持っている情報を出し合い、課題を整理し、支援の方向性を検討していくという作業を一緒に行っていくことで、お互いの連携が深まりより良い支援、地域づくりにつながると感じています。  
今後も地域ケア会議の開催にご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

